



ポプラ並木

令和2年6月号

清掃集会5/25(月)

学校再開にあたり、清掃集会の意義や仕方について確認しました。今回は、各学級でプレゼンを使って放送による説明を行いました。



清掃をするにあたっては「やらされる清掃」から「自らやる清掃」にこそ大きな意味があり、清掃を通して「気づく力」「先を考える力」「誰かのために動ける力」を身に付けていくこと、また「完全無言」を重点目標として取り組んでいくことを確認しました。



実際の清掃では、無言清掃はもちろん活動の前後には黙想するなど、真剣な取組は確実にレベルアップしています。

生徒会あいさつ運動6/5(金)

毎週金曜日、生徒会執行部で、職員玄関前で登校してくる生徒に対して、あいさつ運動を行っています。



執行部の元気の良いあいさつに、登校してきた生徒の皆さんも快く、挨拶を返してくれています。

これからもみんなに元気を与えられるような吾田中であります。

P T A あいさつ運動の参加へのお願い

毎月、最終金曜日に、P T A と生徒会で、中学校の前の道路で、登校してくる生徒や仕事に出かける地域の方々に向けてあいさつ運動を行っています。本年度も6月26日(金)から始めます。

朝7:30~7:45の15分間、中学校の正門前で行います。P T A と生徒会と一緒に地域に明るい笑顔と元気な声を届け、相手を大切に思う温かな心を育てていきたいと思ひます。

前日には、マチコミでもお知らせしますので、ぜひ保護者の皆様の参加をお願いいたします。

【裏面に続く】

恐怖というウイルス

『ウイルスから身を守るためには?』との問いかけで始まるアニメの動画があります。「きちんと手を洗うだ



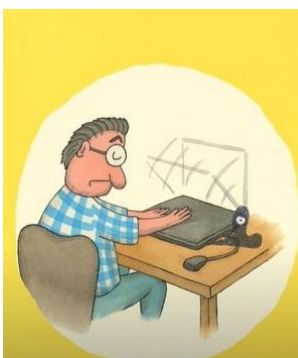
けで、感染する確率はぐんと下がる」だが、ウイルスのように人を蝕(むしば)むのに、心の中に潜んでいて、簡単には洗い流せないものもあります。それは、暗いニュースや間違った情報を食べて大きくなり、人を不安にさせ、人から人へと広まり、周囲を傷つけていくものです。その正体は「恐怖」です。

これは日本赤十字社が「ウイルスの次にやってくるもの」と題して警鐘を鳴らした動画です。恐怖は誰の心にもあり、不安や差別が“感染拡大”の温床になります。だから、恐怖にのみ込まれる前に、“恐怖が嫌がること”をしようと訴えています。

その1つが「笑顔」です。「笑顔」を取り戻すことで、恐怖は逃げていきます。世界中の人が、見えない敵と懸命に闘っています。これは、もしかしたら、ウイルスだけの話ではないかもしれません。暗いニュースや間違った情報、うわさ話がそうです。

最後に動画は、「恐怖は、誰の心の中にもいる。」「だから励まし合おう。応援し合おう。」「人は団結すれば、恐怖よりも強く、賢い。」といったメッセージを投げかけています。

大変な状況が続く、こんな時だからこそ皆で声をかけ合い、それぞれの頑張りをたたえ合って、少しでも笑顔になれる機会をつくりたいものです。



ときにはパソコンやスマホを消して、暗いニュースばかりを見すぎるのはやめよう。不確かな情報を、うのみにしないで、立ち止まって考えよう。

自転車盗難防止モデル校指定書交付式 並びに自転車用ワイヤーロック寄贈式

6/5(金)、吾田中学校に、日南警察署より自転車盗難防止モデル校指定書の交付と日南地区遊技業組合より日南市の中学校を代表して自転車用ワイヤーロックの寄贈が行われました。



交付式と寄贈式に際して、全校生活委員長の西村真央さんが二重ロックを推進するために、生徒会を中心に点検活動を行っていることを紹介し、これからも更に防犯に努めていくことを話してくれました。



技術の授業(1年生)



1年生は技術の授業で、植物の栽培で「バジル」の鉢植えを行っています。1人1鉢に3粒ずつ種をまいて、その成長の様子を授業で

観察します。

5/26(火) →

こんなに小っちゃな種をまきました。ここまで成長しています。



6/17 →

葉っぱもだいぶ大きくなりました。

7月ごろには葉が茂って、料理ができるくらいのバジルが収穫できると思います。楽しみです～



←6/9(火) 小さな葉っぱが目を出しました。



学級・全校専門委員会6/3(水)



中学生になるとより良い学校生活を目指していく上で、生徒が自主的に企画運営する生徒会活動があります。この活動を通して学校全体に関わる諸問題について学年を越え、学校生活の各分野において、生徒が自主的に企画運営する場(学級専門委員会・全校専門委員会)を定期的に設けることで、集団や社会の一員としてより良い生活や人間関係を築こうとする態度を育てていきます。

学級討議(生徒会スローガン決定)

例年であれば、全校生徒で話し合う生徒総会を年に1回おこない、生徒会活動の1年間のスローガンや実践事項を決定していきます。しかし、今回は新型コロナウイルス感染症のため生徒総会は行わず、学級討議による決定となりました。

全校生徒が1つになって、どうすれば生徒1人1人が充実したより良い学校生活をおくることができるかをみんなで真剣に考えました。

6/10(水)に学級討議を行い、それをもとに生徒会スローガンを決めました。

今年度の生徒会スローガンは「Let's do our best」～**どんな時でも どんな場所でも どんな相手でも**～に決定しました。吾田中学校の生徒は部活動や体育大会、文化発表会など全力を尽くして頑張ります。だからこそ学校生活でも手を抜かない、先生や友だちによって態度を変えない、どこでも「ベストを尽くす」そんな吾田中生でありたいとの思いを込め決めました。

更に6/17(水)に、学級や学校の現状を踏まえ、どうしたらスローガンを達成することができるか、具体的な活動内容について話し合いました。

総合的な学習(3年生)6/19(金)

3年生の総合的な学習で「避難所の出来事や避難者対応(避難所運営)をゲーム感覚で模擬体験する」というHUGを行いました。このゲームを通して避難者の状況を考慮しながら仮設トイレなどの生活空間の確保や視察、取材の対応などについて、お互いに話し合いながら避難所の運営の大変さを学びました。

